

平成25年度第二回 福祉医療費助成制度に関する研究会 議事要旨

1. 日 時 平成26年3月20日（木）10:00～11:30
2. 場 所 大阪府庁新別館南館5階 マッセ大阪 第4研修室
3. 研究会メンバー ○大阪府市長会を代表する者
箕面市 市民部長
四條畷市 健康福祉部長
高槻市 健康福祉部長
大阪市 生活福祉部部長
門真市 健康福祉部長（担当課長二名が代理出席）
八尾市 健康福祉部部長
高石市 保健福祉部長
○大阪府町村長会を代表する者
島本町 民生部長
熊取町 健康福祉部統括理事（担当グループ長が代理出席）
太子町 健康医療室長
○大阪府
福祉部国民健康保険課長

4. 議事概要

第二回の研究会開催に当たって、大阪府福祉部国民健康保険課長よりあいさつがあった。

(1) 国の動向を踏まえた今後の研究における主な方向性等（案）について

事務局から、資料に沿って、国の動向を踏まえた今後の研究における主な方向性等（案）について説明し、委員の意見を踏まえ、原案の一部を修正し決定することとした。なお、修正内容については、座長に一任された。

(2) 上記（1）に係る委員からの発言

- ・資料中、乳幼児医療費助成制度欄の最終行に「なお、各市町村が独自の判断として制度設計する部分においても、府として支援すべきか否か」という記述があるが、「否か」という表現は、現在の方向性と齟齬をきたすのではないか。
- ・資料中、乳幼児医療費助成制度欄の後半の記述については、平成22年度の研究総括の抜粋であることを明確にすべき。
- ・来年度、限られた時間の中で、効率的に進めていくということであれば、子育て支援所管のしかるべき者を加えるというふうな形で進められないか。
- ・予め、議論する内容と、担当部門として議論できる方に出席して欲しいということを明らかにしておけば、それぞれの市町村で適任者の出席を検討されるのではないか。
- ・研究会については複数の部にまたがる可能性がある一方で、委員については現行の考え方を基本としつつ、必要に応じて代理または複数の参加ありという考え方で進める。ワーキングについては乳幼児医療のワーキンググループを新たに設置し、次回の研究会開催前の早い時期に、5月中にでも開催の段取りをして欲しい。
- ・「26年度の早期に結論が出せるよう」という（乳幼児医療費助成に関する大阪府の議会での）答弁だが、実際にはいつ頃か、イメージでも分かれば教えて欲しい。

- ・府としては、市町村の今後の子育て支援に対して、どういう支援のあり方が良いのか、研究会・ワーキングにおいて市町村の意見を聴きつつ、どういった形で拡充していくのかも含めて検討したい。なお、できれば、府・市町村ともに、平成27年度の予算編成に向けて見通しの立つような時期と考えており、夏から秋にかけて一定の方向性を整理していくというのが、大まかなイメージである。

以 上